

**4月に12名の拡大!**  
**対話が大きな力に**



2014  
 第4号

都教組北多摩東支部  
 電話 (042) 384・2941  
 FAX (042) 384・7904  
 kita-higasi@mvc.  
 biglobe.ne.jp

# みんなの奮闘で 支部大会成功!

4月26日、北多摩東支部大会が134名の参加で開かれました。市独自の防災訓練や多数の学校公開がある中で、大会を成功させるために駆けつけて下さった代議員により熱い議論が交わされました。当日3名の加入もあり、熱気に包まれた元気が湧く大会になりました。

### 発言から

#### 「多忙化」

疲れが重なって病休が続出している。考えるエネルギーも奪われている。養護教諭が倒れた時には、代替がなかなか見つからず保健室がしばらく閉鎖にしなければならなくなった。

#### 「組合員加入」

地区協の教研は、子どもの視点に立った授業づくりが学べて役に立つ。ペテランの人たちの教育に対する熱い思いが伝わってくる。人を大切に助ける合い精神を見て「いつか私もそうになりたい」と思う。

#### 「民間委託」

給食民営化が始まったが職員が欠員で、いつも募集がかかっている。事故の危険が大きく、栄養士が「毎日怖くて仕方がない」と語る状態だ。

#### 「地域との共闘」

日ごろから市民と一緒にアンケートや学習会をし、市長との話し合いを行っている。教育委員会制度では、教育委員に資料を届け、駅頭宣伝をする。計画は、



### 参加者の感想



★研修や自己申告など、当然やらなければならぬものと思いついていました。しかし、そのような動きが、どんどん増えてきているものなのだと知り驚いています。もちろん、自身の授業力向上や自己目標設定に必要なことなので取り組めますが、研修は「強制」されてするのはなく、「自主的」にすることこそ本質的な教育だと思えます。自主的に研修したくなるような環境づくりの可能性を本日感じました。

★たくさんの方からの話を聞き、そんな中で皆さんがんばっているのだなあ・・と思えました。私も忙しさに負けず、子どもたち一人一人を大切にしたい学級づくりや授業づくりをしていきたいと思えます。

## シリーズ 教え子を再び戦場に送らない② 「戦争できる国づくり」と 一体の「教育委員会改悪法」

学校の教育は、大人の政治の世界の考えに左右されることなく、子どもたちの成長のために自主的に進められていくものでなければなりません。

「教育は国民・住民のもの」という考え方にたつて、平和憲法と一体となって教育委員会制度が66年前につくられました。

国会で審議されている「教育委員会改悪法」は政治からの独立という戦後の教育委員会制度の大原則を転換してしまうものです。国の計画にそった教育政策の「大綱」を首長の権限でつくられるようになります。

今、政治の世界では「戦争できる国づくり」や「企業が活動しやすい国にする」ための仕組みづくりが急ピッチで進められようとしています。「子どもが一番」という考えを大事にする、自主性を持った教育委員会であってほしいと誰もが願っています。

都教組は「教え子を戦場に送らない」と呼びかける教育リーフを作成しました。職場や地域で活用してください。子どもたちの未来を守るために、教職員が声をあげる時です。